

連携診療所向け季刊情報誌

TO WA 架け橋

FOUR SEASONS
NEWS LETTER

2023.02

医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。
そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

CONTENTS

- ①ご挨拶 / 理事長 大西恭子
- ②胆石について思うところ
- ③アトピー専門外来を始めました
- ④東和会いばらき病院よりご挨拶

お問い合わせ 第一東和会病院・第二東和会病院 地域連携室

TEL : 072-671-1118(第一) FAX : 072-671-1090(第一)
受付時間 : 平日 8:30~19:00 / 土曜日 8:30~17:00
時間外・休日 : 072-671-1008(代表)
Mail : renkei@towa-med.or.jp



ご挨拶

医療法人東和会
理事長 大西 恭子



皆さまには健やかに新春を迎えられたことお慶び申し上げます。

国内での感染確認から早3年が経過した新型コロナウイルス感染症ですが、今春には感染法上の分類について、季節性インフルエンザと同等の「5類」へ引き下げられることが決まりました。社会経済活動の大幅な緩和へ一歩踏み出すこととなります。

コロナ禍以降、感染の心配などにより医療機関への受診を控えられる傾向も見られましたが、5類への引き下げを転換点として、必要な時に適切な医療を受けていただけるよう市民公開講座などを通じて、早期発見早期治療の重要性、日頃から受診しやすいかかりつけ医療機関の推奨などを患者さまに積極的にご説明し、地域の医療機関の先生方と共に地域医療の充実に取り組んで参ります。

第一東和会病院設立40周年という

節目の年である昨年4月には『大阪府がん診療拠点病院』の指定を受けました。手術や化学療法を組み合わせた集学的治療や緩和ケアチームを構成し、地域におけるがん医療の中心施設としてその役割を果たすべく、患者さまに安心かつ適切ながん医療を提供できるよう注力いたします。そして今年も救急医療、幅広い手術、脳卒中とより一層地域の急性期医療の充実に取り組んで参ります。

2023年の干支は「癸卯（みずのとう）」といって「春が間近でつぼみが膨らみ、花開く寸前」という意味があると言われております。日本の医療環境が明るい方向に向かうことを願います。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

胆石について思うところ

第一東和会病院 副院長
消化器外科部長 田畑 智丈



平素より地域の先生方には大変お世話になり、この場を借りて御礼申し上げます。

2018年11月に「急性腹症ホットライン」を立ち上げ、2020年には北摂地域で初の腹部救急医学会認定施設の指定を受け、日々急性腹症の患者さまの緊急手術（年間約250件）や緊急内視鏡処置（年間約200件）を積極的に行って参りました。今回はそのなかでも比較的多い胆石・胆嚢炎に関して文献的考察を加えつつ、思いをはせてみました。少しお付き合い頂けると幸いです。

現代医療はガイドライン全盛の時代です。多くの疾患に対してガイドラインが存在します。胆石症にも「胆石症診療ガイドライン2016」が存在しますので、少しご紹介させて頂きます。ガイドラインは日々の診療における疑問点（Q: Clinical Question）をエビデンスに基づいて

解決してくれます。膨大な文献検索をせずに、必要な知識が得られるので重宝します。私は暇なときに読書代わりに読んだりもします。ガイドラインに記載のあるCQのいくつかを抽出してみます。日本人の胆石（胆嚢結石、胆管結石、肝内結石）の保有率は増加傾向で、約5%程度の方が胆石を保有しているとされています。つまり、高槻市の人口が35万人なので約1万9500人の高槻市民が胆石を保有していることとなります。結構多い印象があります。これでは毎日のように腹腔鏡下胆嚢摘出術（以下、ラパコシ）をしてもいこうに患者さまが減らない訳です。

胆石全体の約8割が胆嚢結石、約2割が胆管結石です。治療方針に関しては、有症状の胆嚢結石には原則的にラパコシが推奨されています（エビデンスレベルB）。また、症状の有無にかかわらず胆管結石に関しては内視鏡的あるいは外科的胆管結

石除去術が推奨されています（エビデンスレベルA）。ここまではエビデンスに裏付けられた推奨なので納得です。

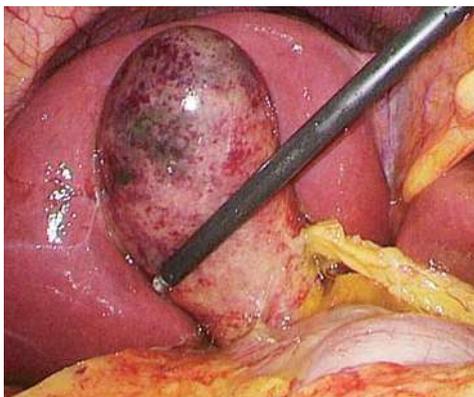
一方、無症状の胆嚢結石に関しては経過観察が提案されています（エビデンスレベルC）。驚くことに、有力なRCTはないそうです。だから「推奨」ではなく「提案」とかなり弱めの表現になっているのでしょう。ちなみに無症状例と有症状例の手術成績の記載がありました。手術時間、出血量、開腹移行率、合併症率すべてが無症状例で少ない結果です。当然の結果ですね。読み進めると胆嚢結石の自然史についても記載があります。無症状の胆嚢結石保有者のうち、毎年3.5%（軽症2%、中等症1.3%、重症0.2%）の方に症状が



無症状例

新たに出現するそうです。毎年3.5%と書かれると少ないように感じます。かなりざっくりですが計算してみました。なんと5年間で約18%、10年間で約40%の無症状胆嚢結石保有者に症状が出現することになります。少しびっくりする大きな数字になりました。こうなると少し話が変わってきます。「本当に無症状の胆嚢結石

は経過観察でよいのだろうか？」と外科医の私は考えてしまいます。具体的には、平均寿命まで10年以上ある元気な無症状の胆嚢結石保有者はもう少し積極的に手術を考慮してもよいと思います。高齢になってからの急性胆嚢炎の緊急手術よりは、若くて元気な時に無症状胆嚢結石の待期手術をするほうが、患者さまおよび外科医の負担がずいぶん少なくて済

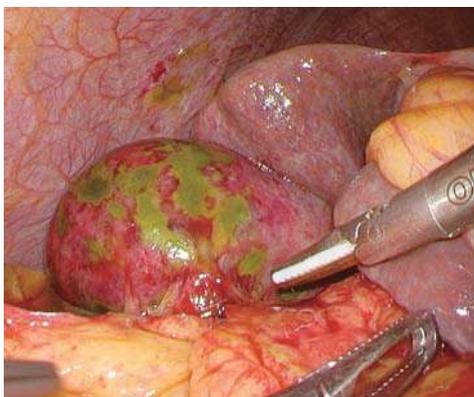


有症状例①（急性胆嚢炎）

みます。お互いwinner-winです。

胆嚢結石が長期間経過観察中に胆管へ落石して、重篤な膵炎や胆管炎となった苦々しい症例を今までに何人も経験してきました。高齢者の急性胆嚢炎の緊急手術のICをしている際に、「何年も前から胆嚢結石を指摘されていたけど、症状がなかったからほっといたんです」や「あとで後悔をされているのをよく目にします。手術や全身麻酔の技術はここ

20年で格段に進歩しています。定期的ラパコシの入院期間は3〜5日です。手術に使用する鉗子も2〜3mmの細径（太めの注射針程度の太さ）を使用すれば、術後の痛みや創痕はほとんど気になりません。ガイドラインは尊重しています。しかし



有症状例②（急性胆嚢炎）

RCTがなく、エビデンスに基づかない「無症状の胆嚢結石は経過観察」というガイドラインの提案には疑問が残ります。元気な無症候性胆嚢結石保有者の治療方針を再考する時期が来ているように感じます。

診療所の先生方におきましては、胆石症の患者さまで何かお困りのことがありましたら、是非ご紹介頂けると幸いです。よろしくお願い申し上げます。



内視鏡外科センター一同

アトピー専門外来を 始めました

このたび、第一東和会病院では令和4年12月より第1・3月曜日の午後、アトピー専門外来を開設致しました。

アトピー性皮膚炎は皮膚バリア機能の体質的な低下により皮膚にアレルギーが生じやすくなり、全身に痒みの強い湿疹が生じる疾患です。全国的に難治性のアトピー患者が増加していますが、近年新薬の出現で重症例であっても皮膚の制御が可能になり、多くのアトピー患者さまのQOLが向上しています。治療に難渋するアトピー性皮膚炎の患者さまがおられましたら、一度ご紹介ください。

【担当医】

大阪医科大学皮膚科学教授

森脇 真一



診察日：第1・3月曜日

13時30分〜

東和会いばらき病院より ご挨拶

東和会いばらき病院 院長 末廣 慎悟



平素より、地域の診療所の先生方には色々のご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

2022年1月1日に茨木市役所横にて一般病床43床を開設しました東和会いばらき病院ですが、早いもので1年の月日が経ちました。

先生方ならびに患者さまに愛される病院となるため、入院設備に関する改修、諸室整備を行うと共に、医師や看護師、コメディカルスタッフ等の増員を行い、手厚い診療体制に全力で取り組んで参りました。また、新型コロナウイルス感染症の第8波による軽症・中等症患者の増加に対応するため受入病床を2床確保し、茨木市をはじめとする三島医療圏の地域医療に貢献出来ていることを嬉しく思っております。

救急告示医療機関としての病院

機能を推進するため、在院日数の軽減や救急搬送受入件数の向上を目標にこの1年取り組んで参りました。その結果、平均在院日数は約3分の1に短縮し、救急搬送受入件数は昨年比で約6倍となりました。

ポストアキュート機能としても地域の急性期病院からの患者さま受け入れ、地域の診療所や患者さま、そのご家族のご希望により、レスパイト入院の受け入れなどの機能も充実して参りました。

第一東和会病院を中心とした東和会のグループ力を結集し、患者さまが安心して治療に専念出来る体制を確立し、地域の先生方のご希望に添えるよう取り組んで参りますので、今後とも東和会いばらき病院をよろしく願います。

東和会いばらき病院

TEL:072-623-0234 (代表)

FAX:072-623-7906

〒567-0888

大阪府茨木市駅前3丁目6-23

